



これからの日本の 研修医教育のバイブルに!

評者 **西澤俊紀**

聖路加国際病院一般内科 /
聖路加国際病院 2021 年度内科
チーフレジデント /
Japanese Chief Residents Association
2023 年度代表



チーフレジデント直伝! できる指導医になる 70の方法

研修医教育・マネジメント・
リーダーシップ・評価法の極意

野木真将、橋本忠幸、松尾貴公、
岡本武士=著

定価: 3,960 円 (本体 3,600 円 + 税 10%) /

A5・352 頁 / 医学書院 / 2022

[ISBN978-4-260-03655-9]

本書は発売直後から話題になり、また私がお世話になった先生方が執筆された書籍のため、ぜひ購入して読もうと思っていたところに、書評の依頼をいただきました。

著者の松尾貴公先生や岡本武士先生は、聖路加国際病院で内科チーフレジデントを経験されたあと、ご自身の専門の道（感染症科と消化器内科）にそれぞれ進まれましたが、専門分野の知識のみならず幅広い内科的知識を教えてください、また院内の教育や医療安全、システムをよりよくしようというカリスマ性に溢れ、私たち聖路加国際病院の研修医にとってロールモデルでした。そのような偉大な先生方が経験された「内科チーフレジデント」は、憧れのキャリアでした。

そんな松尾先生や岡本先生でも当時は多くの悩みがあったそうですが、ハワイ大学でチーフレジデントをされていた野木真将先生の shadowing や米国のチーフレジデントミーティングから、チーフレジデントにとって必要なスキルや心得を学習し、さまざまな困難を乗り越えられたことが、この書籍からわかります。

幸運にも私は、2021 年に聖路加国際病院で内科チーフレジデントを務めることになりました。チーフレジデントの任期前に、松尾先生や歴代のチーフレジデントの先生方よりご紹介をいただき、野木先生や橋本忠幸先生が携っている Japanese Chief Residents Association (JACRA) のチーフレジデントミーティング（1 日開催）やアカデミー（2 カ月間の体系的な集中講義）に参加しました。チーフレジデントに必要なスキルについて学習することで、院内の教育活動やチーフレジデントの業務に活用することができました。

オンラインでのカンファやレクチャーの手法も

たとえば、当院のチーフレジデント主催の週 1 回の研修医対象の教育カンファレンスでは、講義が一方的になりがちで、研修医も受動的になってしまうことが問題点でした。また 2021 年は新型コロナウイルス感染症の影響で、大人数の研修医が集まった従来の教育カンファレンスを行うことが難しくなり、一方で Zoom などのウェブアプリケーションを用いた教育手法が一般的になってきました。そこで、JACRA で教わった「反転授業」を取り入れることで、研修医は録画した動画を用いて事前に予習を行い、講義当日は症例への対応を意識して実践するシミュレーションを行い、レジデントが学習したことをアウトプットする機会を設けました。この反転授業に関しては、第 2 章「場面別指導テクニック」の 2～8 (p.91) で詳説されており、反転授業のメリット・デメリット、そして海外の参考文献によるエビデンスの裏づけがわかります。

また、チーフレジデントを務めた際には、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、以前より研修医のモチベーションを保つことが難しいと感じた瞬間が幾度もありました。教育手法だけではなく、組織マネジメントやメンターとしての正しい振る舞いの仕方も、チーフレジデントにとってとても重要なスキルだと感じました。

本書では、このようなチーフレジデントに必要となるスキルや、指導医にとって必要となるカリキュラム作成まで、1 項目 4～5 ページの内容でコンパクトにまとまっており、また非常にわかりやすく記載されているので、すぐに最後まで読み進めることができます。日本のチーフレジデントとして研修医教育の第一線で活躍される先生方はもちろん、研修医教育に関わるすべての指導医が、エビデンスに裏づけされた正しい医学教育や組織マネジメントを取得するために、ぜひお薦めしたい 1 冊です。

